

ホワイトスペースIPDCの 普及要件

2010年 7月 23日
IPDCフォーラム・コミュニティスペース

発表者：宮広（京セラコミュニケーションシステム）

■ 開催主旨

これまでIPDCフォーラムで様々な議論がされているが、汎用性を求めるが故のトレードオフとして、実像は見えづらくなっている。そこで「ホワイトスペースでのIPDC」に条件を限定し、普及に向けた課題・要件を検討した。

■ 開催期間

2010年 6～7月（会合は、6/22, 7/7, 7/4の計3回）

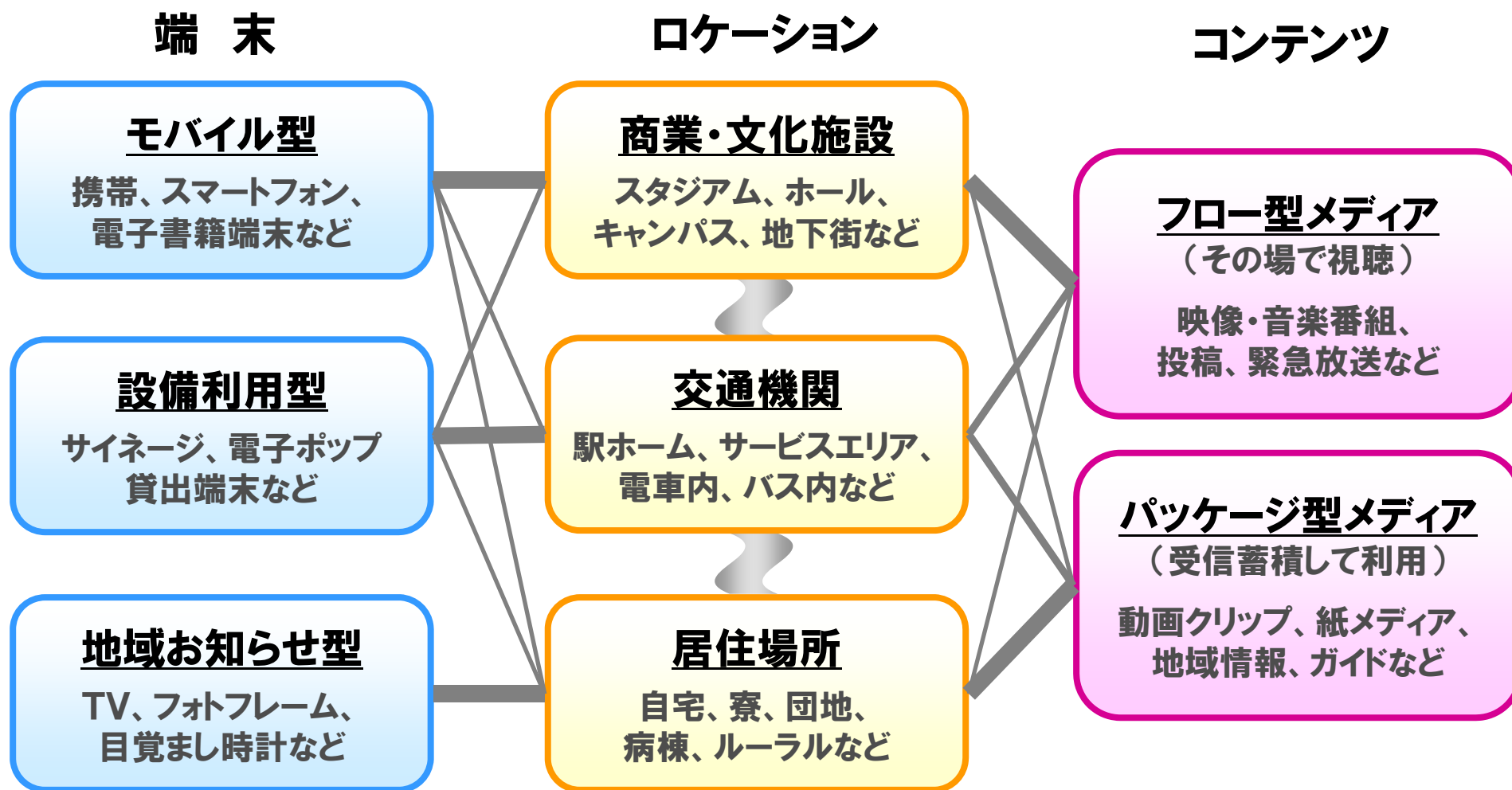
■ 参加団体 ～順不同, 敬称略

NECアクセステクニカ, 慶應義塾大学, クアルコムジャパン,
日本電気, ネクストウェーブ, 読売新聞, ヴィレッジアイランド,
京セラコミュニケーションシステム（進行役）

コミュニティスペース検討まとめ

- スポットIPDC モデル類型
- 普及促進上の重要課題
- 各課題に対する対応案
- 全体構成と普及要件

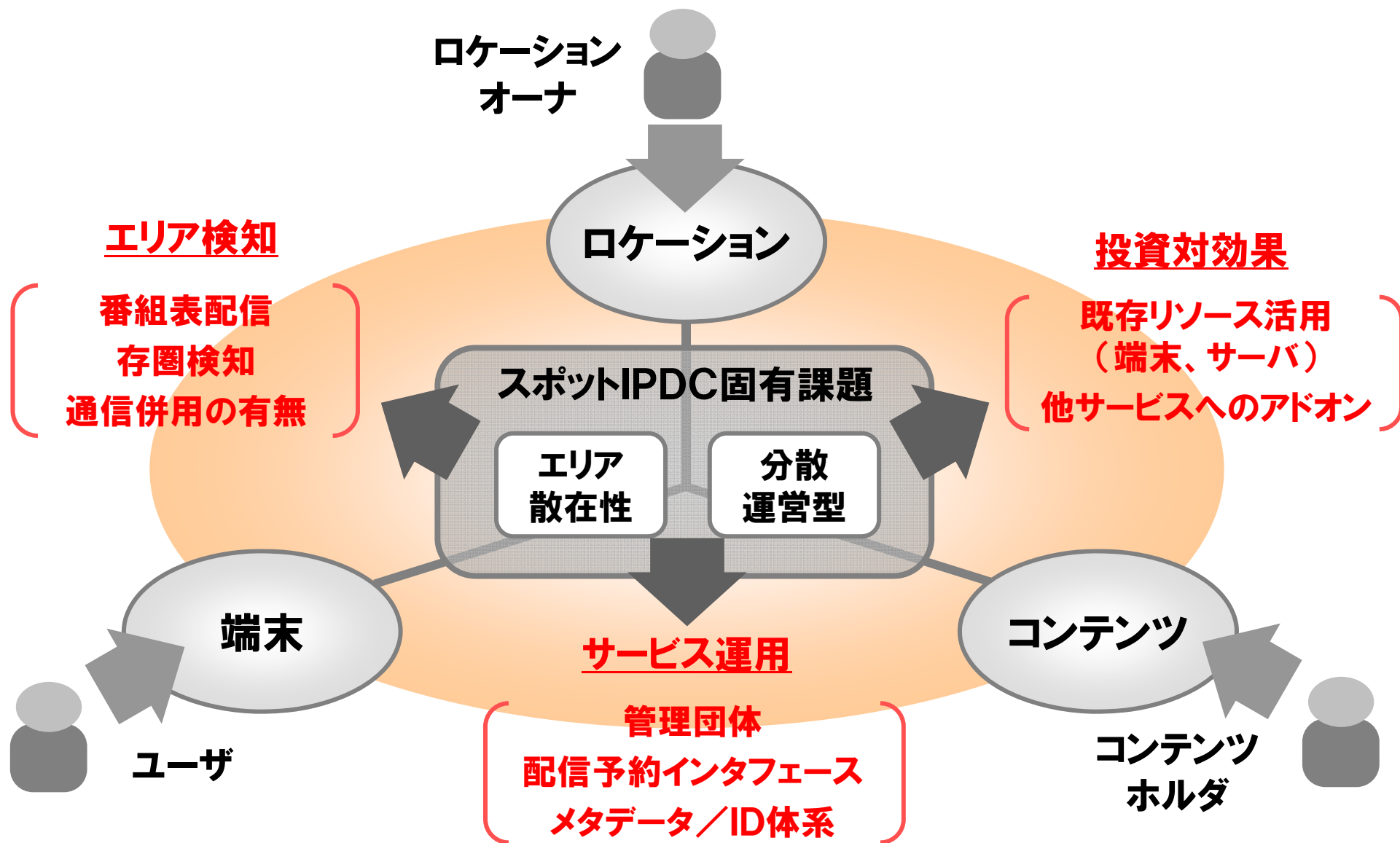
スポットIPDC モデル類型



スポットIPDCはロケーション・セントリック

まず『ロケーション』があり、その特性から端末やコンテンツが決まっていく

普及促進上の重要課題

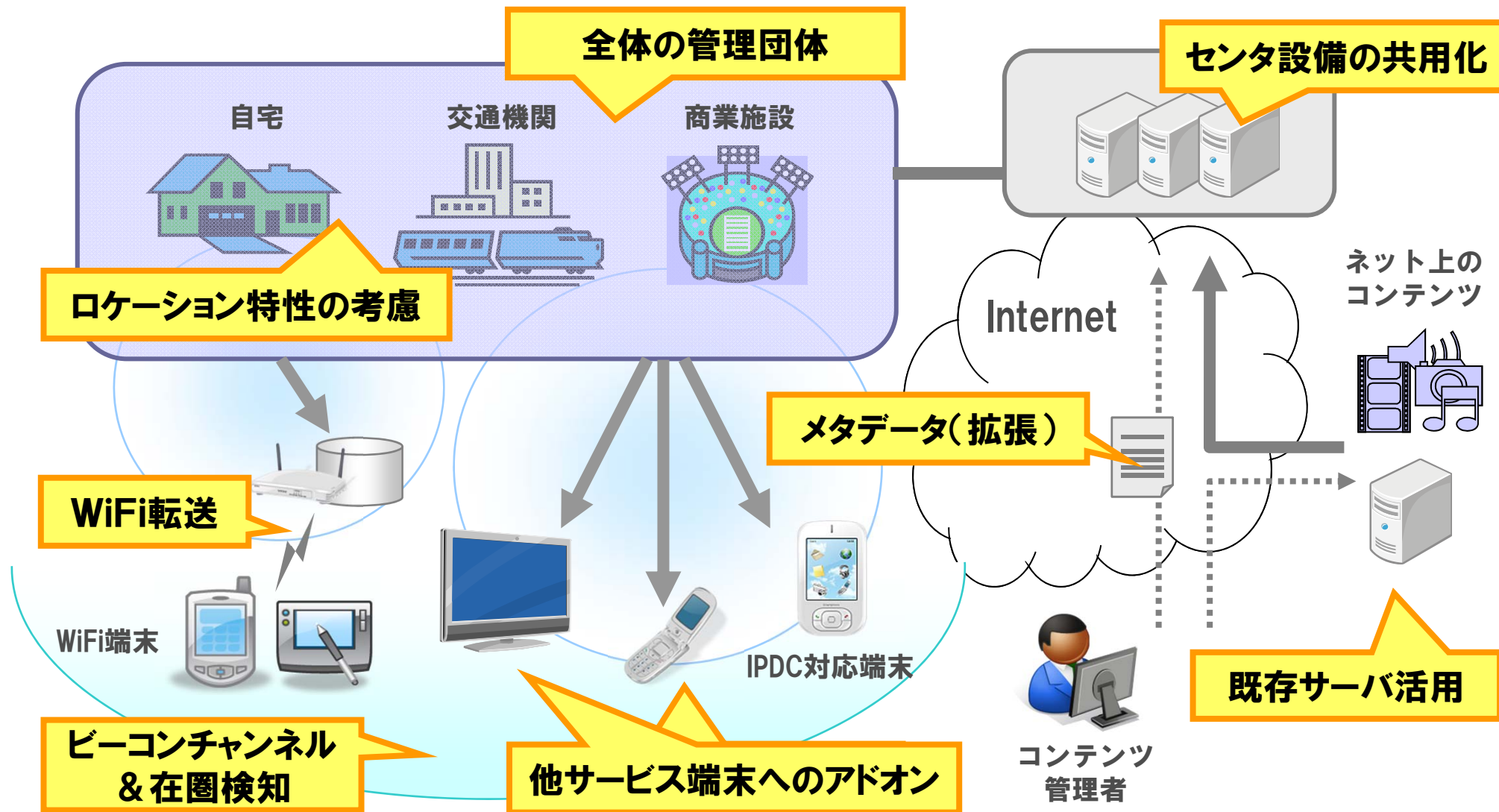


課題に対する対応案

項目	課題	対応(案)
エリア検知	どこで、何を、どのchでやっているかを、どうやって端末に知らせるか？	<ul style="list-style-type: none"> ◇ WS-EPGを、全国エリアのビーコンchで配信 (WS-chでのEPG配信は到達力に課題) ◇ WS-EPGを元に、間欠スキャンで在圏検知 ◇ 3G通信等を併用した配信、検知、リカバー等
投資対効果	サービス主体が分散しており、量的効果が期待できない中、サービス提供するための投資をどう抑えるか？	<ul style="list-style-type: none"> ◇ WiFiルータで中継し、既存WiFi端末で利用可に ◇ センタ系設備は各社で共用し、インターネット用サーバを設置するだけでサービス可能に ◇ WS単独での収支を考えるのではなく、携帯などの付加価値としてアドオンしていく
サービス運用	地域・地場のコンテンツを、複雑な手続きなく、タイムリに配信するには、どんな仕組みが必要か？	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 各地のサービス、全体をライトに管理する団体 (登録マップ&EPG提供、ガイドライン提示等) ◇ コンテンツホルダが、インターネットで配信予約や番組投入ができる仕組み(インタフェース定義) ◇ WSやIPDC特有のメタデータ定義(配信局ID、自動受信可否、帯域・回数・必達度など)

WS: ホワイトスペース EPG: 電子番組ガイド ch: チャンネル

全体構成と普及要件



普及促進に向け、吹き出し部分の対応を産官学、共同で実現していく必要がある